

## M. K. 英語英文学科・3 年次

### I. 留学レポート

#### ① 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してからは、ビザの申請や留学先から要求された予防注射の接種等に時間を費やしました。ビザの申請は想像以上にややこしく、かなり時間がかかった気がします。手続きには住民票や高校の成績表なども必要書類の一部となっており、私は同女の寮に住んでいたのですが、実家の和歌山から資料を取り寄せたりしなければならなかったのも、余裕をもって準備することをお勧めします。予防注射についても、要求されたものの中に珍しいワクチンの接種があり、病院側が入手しにくいものもあるので十分な時間が必要です。もし、出国までに打てないものがあったとしても、現地で打つことができますが、なるべく日本にいる間に済ませておいた方が安心だと思います。また、I-20 が発行された後は留学先大学からメールが届き、学校のメールアドレス、ID、メールボックスの番号などの情報が配布されます。留学先大学との連絡はメールで行い、ルームメイトを決めるためのアンケートなどもありました。そのアンケートの結果をもとに寮(キャンパス内に 4 つの寮があります Laughlin, Rea, Fickes, Woodland)やルームメイトが決まります。私の場合、はじめ大学から Laughlin の 4 人部屋と言われました。しかし、私は眠りが浅く賑やかな中では眠れないほうなので、International Affairs の担当者の方にメールを送り、Fickes の 2 人部屋に変更してもらいました。結果、私は快適に過ごすことができました。ダメもとで問い合わせたことでしたが、理由を話せば対応して頂けました。なので、寮のことだけでなく、少しでも不安なことがあれば一度相談してみるのが良いと思います。

#### ② 現地到着後

私は大学のオリエンテーションが始まる前日に到着しました。空港には大学のスタッフの方が迎えに来てくれていて、スムーズにたどり着くことができました。空港から大学までは車で 30 分程度で、結構近いです。思ったよりも時差ボケがなく、夜も普段通り寝られました。オリエンテーションは 4 日間ほどありインターナショナルの学生だけでなく、正規学生の 1 年生と同じ流れで進んでいきます。出国前には現地に到着してからレベルチェック test があると聞いていたのですが、そのテストはなかったです。オリエンテーション期間にはいくつかのイベントが含まれており、入学式やゲーム大会があり、たくさんの食事やお菓子も用意されていました。アメリカに来たばかりで緊張していたのですが、このようなイベントのおかげで少しリラックスできました。また、この期間に春学期の授業登録を行います。オリエンテーションに含まれるイベントなどは絶対出席しなければならないというものではないので、飛行機の長旅で疲れていてゆっくりしたいと思えば、時間は自由に使えます。なので、オリエンテーションの前日に到着するくらいで丁度良かったかなと思います。

#### ④ 正規科目履修期間

##### ◆大学の施設・環境について

私は Chatham 大学のブリッジプログラムを利用して留学したので、他の協定留学先と違い、ESL

も正規授業も同じ大学で受けることができます(私はこの特徴に惹かれて Chatham を希望しました)。なので、語学研修期間も正規科目履修期間も、ずっと同じ寮で同じ部屋に住んでいました。大学はダウンタウンからバスで 30 分くらいのところに位置しています。ダウンタウンまでのバスだけでなく、Pittsburgh 市内のバスは大学で交付される ID カードを見せることで全て無料です。休暇中の旅行で飛行機を利用する場合も、市バスで空港まで行くことができるので便利です。また、大学周辺には Walnut Street や Shady Side というショッピング街や薬局なども近くにあるので大変便利で、寮から歩いて行くことができます。

#### ◆履修科目

##### 秋学期

###### • Academic Reading I

初めに 1 冊、本を指定されます (分厚い)。それぞれ何について調べるかテーマが与えられ、プレゼンテーションを行いました。その他は一般的な読解の仕方を習います。

###### • Academic Writing I

このクラスは Writing のクラスなので、ひたすらエッセイを書きます。書く力は、間違いなくつきます。

###### • Classroom Interaction

多くの留学生が受講し、アメリカでの常識や、コミュニケーションの取り方を学ぶことができます。とてもリラックスして受講できると思います。

###### • US Culture-Pittsburgh

Pittsburgh の歴史や有名所を学ぶことができ、休みの日に授業で習ったところへ遊びに行きました。

###### • First Year Writing Seminar

このクラスは現地の 1 年生の必修授業であり、上記の Academic Writing I と似た感じですが、なので、2 つの授業のエッセイ提出日が被ったときなどは大変でした。

###### • Squash

室内でするテニスのようなもので、運動好きの方にはお勧めします。

##### 春学期

###### • Academic Reading II

Academic Reading I と殆ど同じ授業方針ですが、読む本が少し難しくなります。

###### • Academic Writing II

Academic Writing II と殆ど同じ授業方針ですが、書かなければならないエッセイの量や回数が増え、最終エッセイはとても苦労しました。

###### • Communication Skills

このクラスはプレゼンテーションを中心としたクラスで、多くの留学生が受講し、体の動きや間の取り方などを学ぶことができます。

###### • Gender and Contemporary Social Issues

アメリカでは男女差別や性の問題が大きく扱われており、そのことを改めて考えさせられるような意味ある授業だと思います。このクラスも現地の1年生の必修授業ですが、扱う教材や内容は少し難しかったように感じます。また、ペーパーも頻繁に提出しなければなりませんし、プレゼンテーションも数回あるので楽な授業ではなかったです。

#### ・ General Psychology

授業内容は身近な「心理状態」のことから、複雑な「脳内の仕組みや神経の役割」まで様々ですが、興味深い内容がたくさん組み込まれていたのが個人的には楽しい授業でした。-他クラスと比べて少し人数が多めで、大きな教室で授業を受けました。授業形態は、まずパワーポイントのスライドが毎授業配られ、講義形式で進められます。しかし、グループワークなどもあり、それが participation の点数として表れます。マーク式ではありますが2週間に1度のペースで小テストがあり、それも大きく成績に反映されます。

#### ・ Walking for fitness

体育館内をひたすら歩きます。天気の良い日は外を歩くこともありました。歩いた後は軽い筋トレをします。

### メイターム

#### ・ Games Children Play

メイセメスターなので毎日1時間の授業があります。教室内の雰囲気はとてもリラックスした感じで、授業の初めは先生の教育についての話を聞き、その後、先生と生徒全員がその日の題材について話し合います。ノートをとって勉強するという授業ではなく、お互いの意見を共有するという感じです。

#### ・ Squash

秋学期も Squash を取っていましたが、楽しかったのでメイセメスターも受講することにしました。とても良い運動になりますよ。

### ⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

私は初め、カルチャークラブというものに所属しましたが、そのクラブはほとんど活動がありませんでした。その後、友達に頼まれてドラマクラブというものに入りました。Chatham 大学のドラマクラブはとても積極的に活動しており、学校内の theater で学期ごとに舞台を行います。そのうちの1つに参加させてもらい、台詞はほとんどなかったのですが、毎日夜遅くまで練習しました。その時は、練習時間が多く、テストも近かったこともあって嫌だなーと思うこともありましたが、今思えばとても貴重な経験をすることができ、いい思い出です。舞台終了後は皆で打ち上げパーティーのようなものもありとても楽しかったです。

### ⑥ 現地での住まい

上記したように私の場合 ESL と正規授業は同じ大学で行うことができたので1年間ずっと同じところに住んでいました。住まいは大学の寮です。私の寮は Fickes といって、色々な学年の人が住

んでいますが、主に FirstYear(1年生)の学生が住む寮です。1年生が多いということもあり、たくさんのイベントがあります。私が住んでいた寮を含めて学校の寮は全部で4種類あります。Laughlin と Rea という2つの寮は、インターナショナルの学生がほとんどです。インターナショナルなイベントなどがこの寮で開催されます。Woodland という寮は、おそらく一番新しい建物で、全ての教室に近いところに位置しています。この寮には大学生だけでなく院生も住んでいて幅広い層の学生が生活しています。どの寮もそれぞれに良いところがあり、どの寮が一番いい、ということはありません。

### ⑦ 長期休暇の過ごし方

10月には大学の International Affairs が主催する留学生用のワシントン DC 旅行があり参加しました。これは殆どの留学生が参加し、みんなと仲良くなる良いきっかけになると思うので是非参加してみてください。冬休みには西海岸（ロサンゼルス・ラスベガス）へ行きました。また、年越しはフロリダのディズニーワールド・ユニバーサルスタジオで過ごし大変満喫することができました。他にも春休みや土日を使って、マイアミやナイアガラフォールズ、シカゴ、NY、なども行きました。Pittsburgh からは mega bus や greyhound というバスが出ており、ナイアガラや、シカゴ、NY etc...までは大変安い値段で行くことができます。例えば NY まで飛行機を使うと一番安くて片道約 120 ドルで、バスだと予約時期によっては片道 30 ドルで行けます。利用する価値ありです。また、私はバスケットボールが好きだったのでバスでフィラデルフィアに行き NBA の試合も見に行きました。生で見るのはすごく迫力があり感動しました。さらに、Thanks Giving day や Easter には同じ寮に住んでいる友達の家泊りに行かせてもらいました（下記の「留学の感想」で詳細）。せっかくの機会だと思い、いろいろな所へ行きました。行く先々で、その地域特有の人間性があつたり、食べ物の違いがあつたり、たくさんの発見と感動がありました。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出にのこっていること

Thanks Giving day や Easter には同じ寮に住んでいる友達の家泊りに行かせてもらいました。アメリカではこれらの日に、親戚中が集まり盛大に祝います。Thanks Giving には1週間、Easter には3日間、泊らせてもらいました。どちらのお祝いも伝統的なゲームや食事があり、日本では経験したことのないことを、たくさん経験させてもらいました。その友達や家族とは仲良くなることができ、普段の土日にも一緒に出かけることが多かったです。とてもいい思い出です。また、様々な国の留学生（韓国や、タイ、モンゴル、パキスタン、ドイツ、フランスなど）と友達になることができたことは、この留学を通しての大きな財産だと思います。今でも連絡をとっていて、今度日本に会いに来てくれる友達もいます。

### ② 留学中で辛かったこと、最も苦勞したこと

私は、現地に到着してから約1か月後に体調を崩してしまいました。最初は軽い風邪の症状だったのですが、そのうち熱も40度近くまで上がっていました。その後、極度の脱水症状になり、意識も朦朧とあまり覚えていませんが救急車で運ばれました。あの時は死ぬかと思うくらいしん

どかったです。アメリカのほとんどの部屋には暖房が付いていて、外が極寒でも室内は快適に過ごせるくらい暖かくなります。室内が快適な温度なので、体感では乾燥しているようには感じなくても、実は日本に比べて大変乾燥しています。まめに水分補給をすることをお勧めします。最初の軽い症状の時に病院に行っておけば良かったのに、その時は英語にも自信がなく病院に行くことを避けていたように思います。しかし、Chatham 大学の近くには UPMC という立派な病院があり、UPMC Argent Care というところは予約なしで受診してもらえます。さらに、大学のシャトルバスで送迎もしてもらえるので便利です。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

授業を受けていて感じたことは、アメリカの学生は一つ一つの授業を大事に、また熱心に受講していると感じました。日本の大学の授業で寝ている学生や内職をしている学生をたくさん目にしますが、アメリカでは見かけることはありませんでした。それが当たり前の姿だと言われればそうかもしれませんが、日本との違いはそこです。また、授業にはただ出席すれば良いという考えではなく、積極的に手を挙げ、自分の意見をみんなに聞いてもらいたい、と必死な学生がたくさんいました。見習うべき点は数多くあると思います。さらに、文化の違いを大きく感じるのは、日米間よりも、他国の留学生（韓国、中国、サウジアラビア、パキスタン、タイなど）との間だったようにも思います。宗教のことや、勉強に対する熱意、授業態度、食事方法など、わたしたち日本人とは違うなと感じることがたくさんあります。これは、何が良くて何が悪いという違いではなく、「世の中にはこんな考えがあって、こんな風に違うのか」と新しく知るきっかけになり全てが良い経験でした。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学での良かった点、悪かった点

良かった点として、Chatham 大学は比較的小さな大学で、授業はほとんど少人数制で行われるということです。少人数制なので、わからないことを質問しやすい環境であり、また先生も生徒一人一人をしっかりと見てくれるので安心して授業を受けられました。さらに、大学がある場所は大変交通の便がよく、ちょっとした時間にすぐに出かけられ、車なしでも困ることはありませんでした。

悪かった点としては、思ったよりも日本の学生が多かったことです。日本人がいて安心できる反面、何かあるとつい日本人に頼ってしまい日本語を使っていました。だからといって、受ける授業に日本人がたくさんいるというわけではありません。神戸女学院大学からきている学生が一番多く、6 名いましたが、彼女たちは私とプログラムが異なり、彼女たちだけで授業を受けていました。なので、ポジティブに言えば、近くに日本人がいる、という程良い安心感をもって自分の勉強ができます。

### ② 日本から持って行って、特に役立つもの

私は日本からパソコン、日本食少々、カメラを持っていきました。日本食も大学そばにある TOKYO というお店で買うことができますし、今はほとんどのものがアメリカで手に入ると思い

ます。

### ③ 語学力の向上等、留学の成果

ともかく、たくさんエッセイやレポートを書きました。日本でいる間にこんなに書いたことはないというくらい書きました。ただ、書けばいいというわけではなく、いろいろなフォームに沿って論理的な文章を書くので、多くの参考資料に目を通さなければなりません。そのおかげで、書く力はもちろん、読む力も同時についたと思います。また、ほとんどの授業でプレゼンテーションがあったので、人前で話すことにも少しずつ慣れました。どれくらい語学力が伸びたのか、はっきりはわかりませんが、留学前よりは映画を英語で聞きとりやすくなり感じたり、英語が体に馴染んできたように感じます。これから帰国後初の TOEIC テストを受けてみようと思っています。

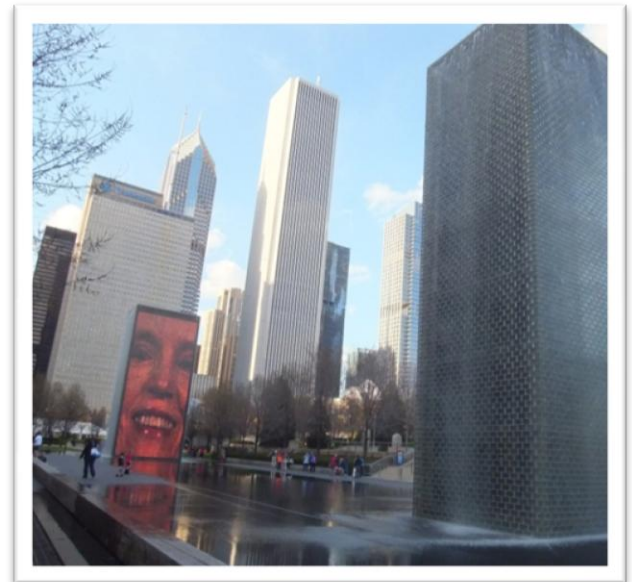
### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学前は誰もが不安を持っているものです。しかし、行ってみると思ったよりも毎日を普通に暮らせますし、日本でいたときには感じなかった感動や発見がたくさんあり、毎日が新鮮です。今までとは違う世界を見て、違う文化を見て、違う国籍の人を見て、たくさんを経験して下さい。留学はあっという間に時間が経ってしまいます。一日一日を噛みしめながら生活して下さい。とても楽しいですよ。



この写真は Easter に友達の家を招待してもらった時のものです。この日は、親戚中が集まっていたので大人数で賑やかでした。この家族とは今もよく連絡を取っています。

春休みに韓国人の友達とシカゴに行った時の写真です。  
シカゴはとてもキレイな所で、  
私のお気に入りスポットです。



## S. M. 英語英文学科・3年次

### I. 留学レポート

#### ① 留学決定から出発までの準備期間

留学出発までに英語系の資格(TOEIC、英検)などを積極的に受けていました。留学後の能力と比較したかったからです。経済面を考えて、直前までアルバイトをしていました。単位に関しても、私は帰ってきたときは4回生なので、卒業のことも考えて、必修など埋められる教科は全て履修しました。航空券は早めにとっておくことをおすすめします。ビザの手続きはスムーズにいきましたが、予防接種に関しては大学側から求められていることが多々ありましたので、かなり時間と手間がかかりました。海外渡航専門の良いクリニックを見つけると良いでしょう。

#### ② 現地到着後

大学最寄りの空港であちらの大学の国際センターの方が出迎えてくださいました。わからないことは必ず解決して下さいますので、なにかあれば積極的にきくとよいでしょう。各寮のリーダーも親身になって接してくれるはずです。オリエンテーション期間が長くいろいろと詰め込まれていてかなり疲れますが、英語に慣れるのに良い機会かも知れません。

#### ④ 正規科目履修期間

##### ◆ 大学の施設・環境について

勉強は寮の勉強できる空間で、また図書館は24時間あいているのでとても便利でした。カフェも夜遅くまで開いているので良いかもしれません。留学生用の相談できるプログラムもあるので、いつでも国際センターの方が助けてくださります。

##### ◆ 履修科目

###### ・ Academic Reading

Readingの基本的なことの他に、プレゼンもあり大変でしたが楽しかったです。

###### ・ Academic Writing

基本的なエッセイの書き方を学びました。

###### ・ Academic Speaking & Listening

この授業はいろいろな国の方が受けていたので刺激的でした。

###### ・ First Year Writing Seminar

Writingクラスをふたつ受けていたので両立するのが大変でした。

###### ・ Aerobic Dance

エアロビの他に筋トレなど少しハードでしたが楽しくできました。

春学期もこのような科目のアドバンスバージョンをとりました。Gender & Contemporary Social Issueはアメリカならではのジェンダーや人種のことなどが学べるのでとても勉強になりました。

#### ⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

特になし

#### ⑥ 現地での住まい



寮は大学側からだいたいの希望をきかれます。留学生用の寮にした方がよいかもしれません。食事は食堂があり3食ついています。大学の近くは飲食店やドラッグストアなど充実していて歩いて何か買いに行くことができます。また大学のIDを使えばバスは無料なのでバスを使っているところへ出かけていました。大学側からもショッピングシャトルなど提供されているので便利です。

### ⑦ 長期休暇の過ごし方

旅行へいきました。アメリカの各主要都市へほとんど行くことができたのではないかと思います。日本から遊びにきてくれた友達、両親とも旅行へ行くことができたので充実していました。

### ⑧ 留学期間中の就職活動の取り組み

私は教員志望なので、特に何もしていません。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

様々な場所へ出かけたことです。週末は勉強する日1日と友達みんなで出かける日を1日つくり、大学のまわりなど散策するのが楽しかったです。旅行もいろいろな出会いがあり、思い出に残っています。

### ② 留学中出でつらかったこと、最も苦勞したこと

日本にいる友達や家族が恋しかったことです。頻繁に連絡はとっていましたが、遠く離れてはじめて大切さに気づきました。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

様々な国からの留学生に出会いました。たくさんありすぎて書ききれませんが、ひとついえば、時間にルーズな文化が多いことです。授業中にお祈りしなければならない宗教を信仰している生徒もいて、日本では見ることのできない光景でした。

## III. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は様々な国の留学生と出会えることです。悪かった点は国際センターの対応が親切なのですが、適当すぎるということです。

### ② 日本から持って行って、特に役立つもの

パソコンとスマートフォン。スマートフォンはwi-fi環境があればネットに繋がります。アメリカはwi-fiを提供している公共施設が多いです。日用品はあちらでほとんど購入できますし、アマゾンなどで通販も簡易にできるので、なにも困りません。洗濯ネットは日本から持っていくと良いかもしれません。海外の薬が怖い方は、薬を必ずもっていくとよいでしょう。

### ③ 語学力の向上等、留学の成果

1番のびたのはスピーキング力だと思います。しばらく慣れてくると旅行会社へ電話で交渉などできました。しかし、発音が悪いために通じないことは多々ありました。Writingもすらすら書

けるぐらいに成長しました。Reading は意識しないとのびないと思います。

**④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス**

悩んでいる方はぜひ行くべきだと思います。わたしはこの留学を通して、語学というよりも経験という方が大きかったと思います。英語だけにとらわれず、違う世界もひらけます。



大学のチャペルです

大学のチャペルで留学生のお別れパーティーの後、キャンパス内の写真です。

